



2022年5月10日

各 位

上場会社名 大平洋金属株式会社
代 表 者 代表取締役社長 青山 正幸
(コード番号 5541 東証プライム市場)
本店所在地 東京都千代田区大手町一丁目6番1号
問合せ先 取締役常務執行役員 松山 輝信
(TEL 03-3201-6681)

中期経営計画「PAMCO-2024」(2022年度～2024年度)策定のお知らせ

当社は、事業環境の変化に対応可能な経営基盤の確立及び継続的な成長のため、2016年度に長期ビジョン「総合力世界トップクラスのフェロニッケルメーカーを目指す」を掲げ、これまで中期経営計画「PAMCO-30」、「PAMCO-2021」を策定し、長期ビジョンの達成に向け邁進してまいりました。

当該期間中における当社を取り巻く事業環境は、ニッケル鉱石供給国における資源ナショナリズムの具現化、主力製品の市場構造の変化等、益々厳しい状況になりました。また、足許ではウクライナ情勢の緊迫化による資源・エネルギー価格の高騰等、予断を許さない状況となっております。

このような事業環境のもと、当社は、さらなる基盤強化、SDGsへの貢献及びカーボンニュートラル実現等を当社における重要課題と位置づけ、課題解決を軸とした事業構造を構築し展開することにより、持続可能な企業への成長を目指します。

これらから、新たな長期ビジョン「持続可能な循環型社会を共創する総合素材カンパニー」を掲げ、その実現に向けた新中期経営計画(PAMCO-2024)を策定いたしました。

新中期経営計画(新計画名:PAMCO-2024)の概要

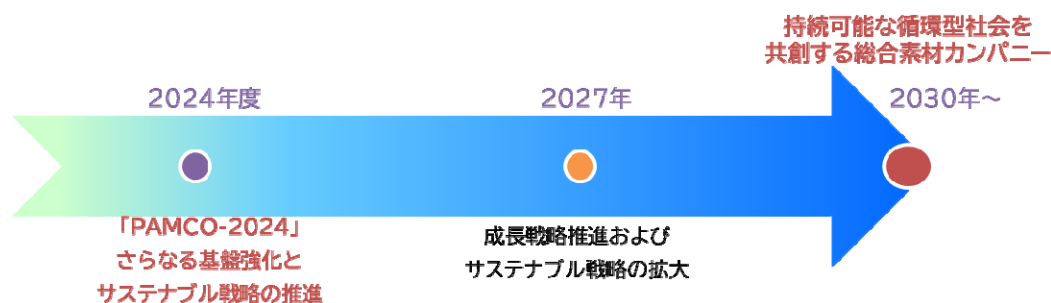
- (1) 期 間 : 2022年度～2024年度の3ヵ年
- (2) 長期ビジョン :

「持続可能な循環型社会を共創する総合素材カンパニー」

- (3) PAMCO-2024のテーマ :

「さらなる基盤強化とサステナブル戦略の推進」

- (4) 中期経営計画の位置づけ



(5) 重点課題（マテリアリティ）及び重点施策（①～⑨）

～重要課題（マテリアリティ）の解決を通じ、SDGsの達成に貢献する～

収益性を重視したフェロニッケル生産・販売体制の再構築

- ①生産戦略の見直しによる最適生産体制の構築
- ②調達戦略の見直しによるコスト競争力の強化

海外製錬事業への展開検討の加速

- ③海外製錬プロジェクトの推進と生産立上げ

社会に貢献する新規事業の創出

- ④LIB材料向け原料の製造販売事業の推進

循環型社会に貢献する国内事業の多角化

- ⑤リサイクル事業の再構築

サステナビリティ課題への対応による企業価値の向上

- ⑥サステナビリティ推進会議

～サステナビリティ重要課題（マテリアリティ）に関する中長期的な取り組みの推進～

- ⑦GHG排出量の低減
- ⑧地域及び資源国の発展への貢献による共生促進
- ⑨ステークホルダーとの建設的な対話の推進

(6) 年度別指標（損益計画等）

| (単位：金額 百万円) | | PAMCO-2024 期間 | | | |
|-------------|-----------------|---------------|---------|---------|---------|
| | | 2022 年度 | 2023 年度 | 2024 年度 | 計 |
| 生産量 | Ni トン | 20,810 | 29,037 | 28,454 | 78,301 |
| 販売量 | Ni トン | 20,500 | 27,500 | 27,500 | 75,500 |
| 連結 | 売上高 | 50,210 | 60,958 | 60,801 | 171,969 |
| | 営業利益 | 925 | 225 | 1,809 | 2,959 |
| | 経常利益 | 3,844 | 2,822 | 4,549 | 11,215 |
| | 親会社株主に帰属する当期純利益 | 3,513 | 2,415 | 4,058 | 9,986 |

詳細は、添付資料の中期経営計画「PAMCO-2024」をご参照願います。

以上

大平洋金属株式会社
中期経営計画 「PAMCO-2024」

2022年5月10日

当社ホームページ

<https://www.pacific-metals.co.jp/>

お問い合わせ先

総務部(IR担当)TEL:03-3201-6681

1. 前中期経営計画「PAMCO-2021」の振り返り

- | | |
|--------------------|---|
| (1) 基本方針に対する達成状況 | 3 |
| (2) 3カ年計画対実績比較(連結) | 4 |

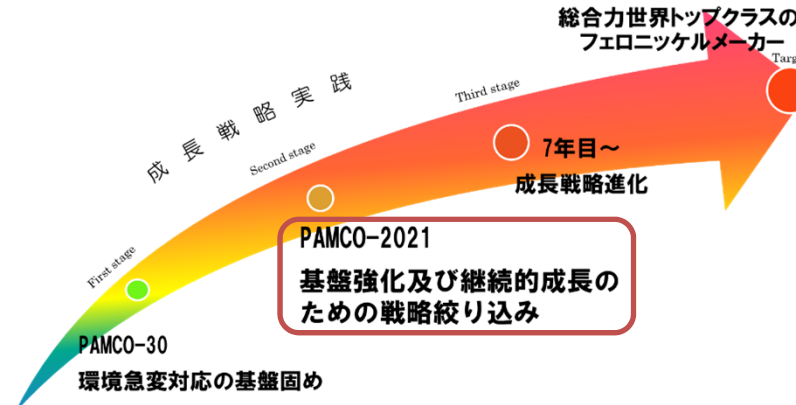
2. 新中期経営計画「PAMCO-2024」の概要

- | | |
|-------------------|---|
| (1) 中期経営計画の位置づけ | 5 |
| (2) 当社を取り巻く事業環境 | 6 |
| (3) 重要課題(マテリアリティ) | 6 |
| (4) 重点施策 | 7 |
| (5) 投資計画 | 8 |
| (6) 資本政策 | 8 |
| (7) 年度別指標 | 9 |

1. 前中期経営計画「PAMCO-2021」の振り返り

(1) 基本方針に対する達成状況

- 「PAMCO-2021」は、
長期ビジョン達成のためのSecond Stage
「基盤強化及び継続的成長のための戦略絞り込み」を軸に推進



| 基本方針 | 達成状況(○:成果 △:課題) |
|--------------------------------|---|
| ①最適生産体制構築のための「設備」の強化と「鉱石」の安定調達 | ○ 最適生産体制に資する「設備」投資を計画的に実行 ○ 期間中において、生産に必要な「鉱石」を安定し調達 △ フィリピン、ニューカレドニア以外の第三国からの新規「鉱石」調達には至らず |
| ②海外事業展開を視野に入れた取り組み | △ 資源国との連携による現地製錬プロジェクトの絞り込み |
| ③国内事業の多角化 | △ リサイクル事業の再構築を念頭に国内事業候補の種まきと絞り込み |
| ④収益力の強化 | ○ 各種合理化によるコスト削減(3カ年計22億円の改善) △ 原燃料価格等の高騰を受け、コスト競争優位には至らず ○ ヘッジ活用により、市況変動による影響を最小化し、安定収入を確保 |
| ⑤事業環境の変化を見据えた「組織」と「人材」の強化 | ○ 新組織体制により、組織の対応力を強化 ○ 将来を見据えた人材育成と採用計画に基づいた必要人員の確保 |
| ⑥キャッシュ・フロー重視の経営 | ○ キャッシュ・フローの適切管理により、資金ショートリスクを低減 |
| ⑦持続可能な社会の実現への貢献 | ○ 省エネ活動の推進によりCO2排出量を削減 △ 無災害は達成できなかったが、重大な労働災害の発生無し ○ コンプライアンスの強化及びコーポレートガバナンスコード各原則への対応 |

基本方針に対する一定の成果が得られたが、当社を取り巻く事業環境、社会的ニーズを踏まえ、「さらなる基盤強化とサステナブルな企業戦略」が必要

1. 前中期経営計画「PAMCO-2021」の振り返り

(2) 3カ年計画対実績比較(連結)

| (単位:金額 百万円) | 2019年度～2021年度(3カ年合計) | | | 増減理由 |
|---------------------|----------------------|---------|---------|-----------------------------------|
| | 計画 | 実績 | 比較 | |
| 生産量(Niト) | 94,500 | 75,548 | △18,952 | ステンレス市況の変化及び感染症等による需要の変化により、数量調整 |
| 販売量(Niト) | 95,500 | 76,386 | △19,114 | |
| 適用LME(US\$/lb.) | 6.48 | 7.23 | 0.75 | 感染症等で一時低迷を見せるも、各国経済活動再開の動き等で堅調な推移 |
| 適用為替(¥/US\$) | 109.72 | 108.72 | △1.00 | 感染症からの経済活動再開及び金融資本市場の影響等で円高ドル安が進行 |
| 売上高 | 157,785 | 133,480 | △24,305 | 販売数量減が影響 |
| 営業利益 | 2,770 | 2,434 | △336 | // |
| 経常利益 | 10,853 | 17,316 | 6,463 | 持分法による投資利益増 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 9,768 | 13,156 | 3,388 | // |
| 投資額 | 10,707 | 2,466 | △8,241 | 感染症等の影響で海外投資等の先送り |
| 減価償却額 | 1,253 | 965 | △288 | 設備投資の先送りと減損処理 |

2. 新中期経営計画「PAMCO-2024」の概要

5

(1) 中期経営計画の位置づけ

- 長期ビジョンの見直し

「持続可能な循環型社会を共創する総合素材カンパニー」

※当社は、有限な資源の効率的な利用及び循環による利用を推進し、ステークホルダーと共に、持続可能な循環型社会を創り続ける総合素材(ニッケル、その他金属及びリサイクル材料等)カンパニーを目指します

- 新中期経営計画「PAMCO-2024」のテーマ

「さらなる基盤強化とサステナブル戦略の推進」

※事業環境の変化への柔軟且つ迅速な対応を可能とするため、PAMCO-2021で築いた基盤のさらなる強化
※社会の課題と当社の重要課題の解決を目指し、サステナブル戦略を推進



2. 新中期経営計画「PAMCO-2024」の概要

(2) 当社を取り巻く事業環境 ～顕在化するリスクと機会

| セグメント | 「PAMCO-2024」期間に想定されるリスク | セグメント | 「PAMCO-2024」期間に想定される機会 |
|----------|--|--------------------|---|
| LME Ni価格 | ・米中対立軸の行方、ウクライナ侵攻、感染症における社会的・経済的構造の変化等、VUCAに代表される諸要因の影響拡大 | フェロニッケル事業 | ・引き続き堅調な伸びが見込まれるステンレスの世界需要 ・低炭素社会を目指すグローバルな動きを背景に低カーボン・プロダクトの商機拡大 |
| 資源 | ・主要資源国インドネシアの禁輸定着、フィリピンの鉱石品位低下と資源政策転換の動き ・EV需要拡大を背景としたNon-FeNi・NPI需要の漸増 | 新たな商品市場の成長・拡大 (EV) | ・自動車産業が大きくEV化に舵を切る中、バッテリー向けのニッケル需要が拡大 ・リチウムイオン電池市場の成長に伴う硫酸ニッケル・硫酸コバルト需要増への取組機会拡大 |
| 市場 | ・インドネシアのNPI生産能力の継続的拡大に伴う市場競争の激化 ・低カーボン・プロダクトへの期待増 | リサイクル事業 | ・循環型社会・経済に対する期待が拡大 ・他社との協業を通じ、新規事業を立ち上げる機会が拡大 ・防災・減災、国土強靱化のための諸施策加速化に伴う、特殊建設資材の需要拡大 |
| エネルギー環境 | ・低炭素社会を目指す潮流 ・ウクライナ侵攻に端を発した電力価格等への影響 | | |
| 労働 | ・コロナを契機とした働き方改革、多様性等を背景に、労働市場変化 | | |

「リスク」を最小限に「機会」を生かす取り組みへの進化



(3) 重要課題(マテリアリティ)

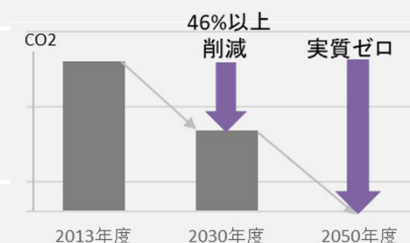
- 収益性を重視したフェロニッケル生産・販売体制への再構築
- 海外製錬事業への展開検討の加速
- 社会に貢献する新規事業の創出
- 循環型社会に貢献する国内事業の多角化
- サステナビリティ課題への対応による企業価値の向上

2. 新中期経営計画「PAMCO-2024」の概要

(4) 重点施策

重要課題（マテリアリティ）の解決を通じ、SDGsの達成に貢献する

| | |
|---|---|
| <p>収益性を重視したフェロニッケル生産・販売体制の再構築</p>  | <p>①生産戦略の見直しによる最適生産体制の構築 ・最適生産体制を構築し、さらなる基盤強化を目指す。</p> <p>②調達戦略の見直しによるコスト競争力の強化 ・コスト競争力を最重要視した燃料、諸原料の調達戦略の見直し・強化を図る。</p> |
| <p>海外製錬事業への展開検討の加速</p>  | <p>③海外製錬プロジェクトの推進と生産立上げ ・国内製錬事業と海外製錬事業の組み合わせによる、フェロニッケル最適生産・販売体制を構築する。</p> |
| <p>社会に貢献する新規事業の創出</p>  | <p>④LIB材料向け原料の製造販売事業の推進 ・湿式精錬技術を活用し、LIB材料向けの原料の製造販売事業を創出する。</p> |
| <p>循環型社会に貢献する国内事業の多角化</p>  | <p>⑤リサイクル事業の再構築 ・他社との協業等を通じ、当社リサイクル事業の再構築を推進する。</p> |
| <p>サステナビリティ課題への対応による企業価値の向上</p>  | <p>⑥サステナビリティ推進会議 ・気候変動対応、サステナブルな社会の実現を経営最重要課題と位置づけ、サステナビリティ重要課題（マテリアリティ）に関する中長期的な取り組みや方向性の議論等、全社横断的に具体的施策をもって推進する。</p> <p>⑦GHG排出量の低減 ・2050年度のカーボンニュートラル達成に向け、明確な目標とカーボンフリーエネルギーの活用、新技術の導入等の方策を以て取り組む。</p> <p>⑧地域及び資源国の発展への貢献による共生促進 ・地域及び資源国の発展への貢献活動を通じ、共生の促進を図る。</p> <p>⑨ステークホルダーとの建設的な対話の推進 ・経営、財務状況を適時・適切かつ公平に開示するとともに、市場環境や当社固有の強みについて積極的に発信し、建設的な対話を推進する。</p> |



2. 新中期経営計画「PAMCO-2024」の概要

8

(5) 投資計画

| | |
|--------|--|
| ① 設備投資 | • 設備の維持、効率化、長寿命化に資する設備投資 |
| ② 戦略投資 | • 1)国内事業 ➢ PAMCO-2021で検討した国内事業候補の事業採算性評価に基づく事業投資 • 2)海外事業・資源 ➢ 海外製錬プロジェクトへの参画意思決定に基づく事業投資 ➢ 資源確保に向けた新規鉱区開発調査等 • 3)研究開発投資 ➢ サステナブルなニッケル事業を目的とした研究開発投資 |

| (単位:百万円) | 「PAMCO-2021」期間 | 「PAMCO-2024」期間 | | | |
|-------------|----------------|----------------|--------|--------|--------|
| | | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 計 |
| ①設備投資 | 2,466 | 1,495 | 1,351 | 1,004 | 3,850 |
| ② 1)国内事業 | — | 53 | 500 | 7,472 | 8,025 |
| ② 2)海外事業・資源 | — | 5,506 | 18 | 8 | 5,532 |
| ② 3)研究開発投資 | — | 35 | 0 | 1,000 | 1,035 |
| 合計 | 2,466 | 7,089 | 1,869 | 9,484 | 18,442 |

新中期経営計画「PAMCO-2024」重点施策達成のための投資促進

(6) 資本政策

| | |
|---------|--|
| ① 利益配当金 | • 当社の株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つとして位置付け、企業体質の充実・強化を図りつつ、連結配当性向30%を目処に実施 |
| ② 内部留保金 | • 経営環境の変化に機能的に対応するための基金とするとともに、資源確保、新技術の開発、設備投資、資本政策の一環として自己株式取得、等々に活用 |

2. 新中期経営計画「PAMCO-2024」の概要

(7) 年度別指標(損益計画等)

| (単位:金額 百万円) | | PAMCO-2024期間 | | | |
|-------------|-----------------|--------------|--------|--------|---------|
| | | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 計 |
| 生産量 | Niト | 20,810 | 29,037 | 28,454 | 78,301 |
| 販売量 | Niト | 20,500 | 27,500 | 27,500 | 75,500 |
| 適用LME | (US\$/lb.) | 9.73 | 8.79 | 8.75 | 9.03 |
| 適用為替 | (¥/US\$) | 111.05 | 111.06 | 111.07 | 111.06 |
| 連結 | 売上高 | 50,210 | 60,958 | 60,801 | 171,969 |
| | 営業利益 | 925 | 225 | 1,809 | 2,959 |
| | 経常利益 | 3,844 | 2,822 | 4,549 | 11,215 |
| | 親会社株主に帰属する当期純利益 | 3,513 | 2,415 | 4,058 | 9,986 |
| | 総資産 | 89,594 | 91,934 | 97,914 | — |
| | 純資産 | 81,026 | 82,416 | 85,797 | — |



大平洋金属株式会社

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。

また、本資料に記載されている将来の予想等については、現時点で入手された情報に基づくものであり、今後、発生する状況の変化により実際と異なる結果となることがあります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願いいたします。

本資料を利用した結果として生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

本資料に関する著作権、商標権その他すべての知的財産権は、当社に帰属します。
